

あゆ みち た なか だい き
わたしの歩んだ道 田中大貴さん
 (プロフィール)
 プロマジシャン。市内在住。16歳のときに出
 場した国際マジックコンベンションで過去最年
 少でチャンピオンと特別賞の2部門を同時受賞。
 2005年シンガポール国際大会での優勝をはじめ
 国内外の数多くの賞を受賞。今世界で注目されて
 いる若手マジシャンのひとりです。



マジックとSTEAM
 小さじころからマジックに興味があ
 り、特に保育園の先生がやってくれた
 マジックが好きでした。
 目の前でプロのマジックを初めて見
 たのは小学四年生のときでした。プロ
 マジシャンの小林浩平さんが小学校
 に来てくれて、「すごい、信じられない、
 自分にはこれしかない」という感動を
 覚え、マジシャンへの道を決心しまし

た。

プロへの道のり

小学六年生のころからマジック教
 室に通ったり、イベントなどを見
 行ったりしながら、プロになる道
 を探していました。

中学二年生のと
 きに小林浩平さん
 に再会でき「コン

テストで賞をとることがプ
 ロへの一番の近道」とアドバイスを
 受け、それからコンテストを目指し
 猛練習を重ねる日々が始まりました。

その後、プロマジシャンのタクマ
 さんに「一緒に手品をやらせてほし
 い」と直接お願いし、助手として日
 本中を回らせてもらいました。また、
 世界中のコンテストに出場し、いろ
 いろな舞台を経験しました。

大学二年生のときに、プロとして
 マジックに集中するために大学をや
 め、この世界で生きていくと決めま
 した。

毎日が勉強、失敗を次につなげる

プロになる前からですが、人との
 会話、しぐさ、見るもの、流れてく
 る音楽など生活の中で出会う全ての
 ことが「マジックの材料にならない
 か」といつも考えるようにしていま

す。また、時間があれば常にトレー
 ニングをしています。

しかし、何度練習を重ねてもステ
 ージで失敗することがあります。でも、
 失敗したときは失敗したときで、しよ
 うがない。その経験を次に生かして
 いくことをいつも心掛けています。
 手品だけではなく普段の生活も
 「プラス思考」で考えるよう



交通児童遊園でのマジック教室

にしています。「転んでけがをしても、
 「この程度で済んでよかった」と思っ
 ように。」

メッセージ Message

夢をかなえるためには

自分ができるかと思つたことを全
 力でやってみることが大事だと思いま
 す。また、いろんな人との出会いの中
 で夢を見つめたり、かなえたりする
 きっかけがあります。人との出会いを
 ぜひ大切にしてください。



春日井まつりで市民と一緒にマジックショー